

ゴマリグナンの精製法と分析法

勝崎 裕隆

(生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 准教授)

キーワード; ゴマ、リグナン、HPLC、NMR、精製

用途; 物質精製、食品成分分析

企業への期待:

■ **ゴマリグナンの標準品の精製法、機器分析データ、分析法等の提供が可能です。**

研究シーズ

【研究タイトル】

ゴマリグナン類の精製法と分析法

【従来技術の問題点、課題】

巷に存在するゴマリグナン類は多種多様である。これらリグナン類の標品の供給や分析法などは、確立できていない。また加工した食品等からの分析も困難を極めている。これらの分析方法の確立を目的として研究を実施している。

【解決手段】

今まで、多くのリグナンを単離、構造決定している。

また、公設機関からの相談に応じるレベルの一部の分析法を確立してきている。

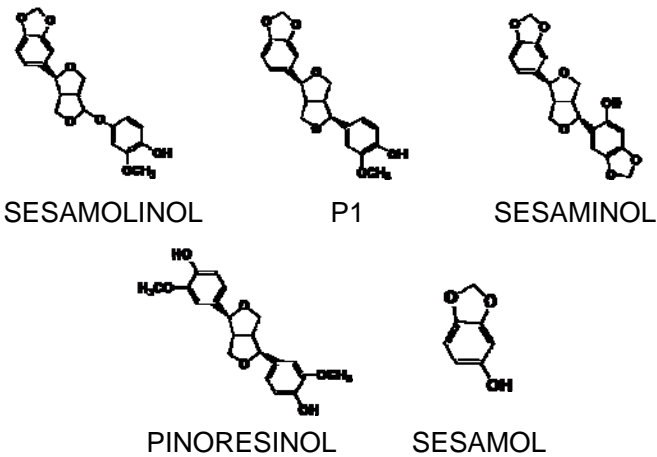


図1:ゴマ中のリグナン類

- セサミン以外のリグナン類の標品を持っている
- ゴマリグナンの機器分析データを数多く持っている。
- 分析法に関する相談に乗ることができます。
- ゴマリグナンだけではなく、様々な物質の単離・構造決定・構造と機能の相関性に関する研究を実施している。

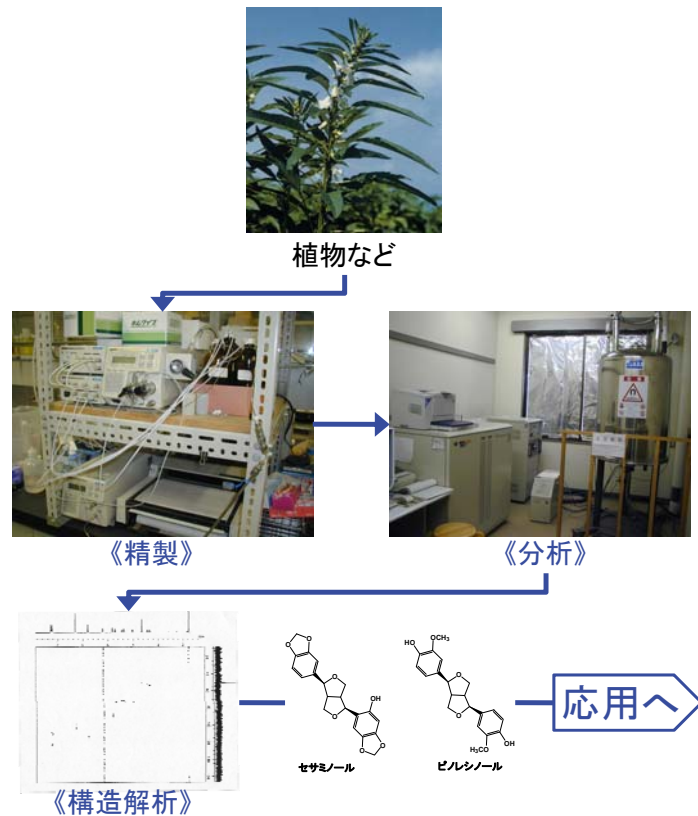


図2:天然からの有用物質の探索と応用

連絡先: 社会連携研究センター

TEL&FAX; 059(231)9047

E-mail; liaison@crc.mie-u.ac.jp